

令和5年度第1回浦安市学校給食センター運営委員会議事録（議事要旨）

1 開催日時 令和5年7月31日（月）午後2時～午後3時30分

2 開催場所 浦安市消防本部3階 多目的ホール

3 出席者

（委員）

遠山会長、鈴木副会長、栗原委員、西田委員、増井委員、下田委員、筒井委員、小田委員、高橋委員、伊藤委員、早川委員

（教育委員会）

鈴木教育長、田中教育次長、榎教育総務部部長、鈴木教育総務部次長、阿部保健体育安全課課長、千鳥学校給食センター平林所長、事務局6名

4 傍聴人 1名

5 議事

（1）審議事項

ア 会長の選任について

イ 副会長の選任について

ウ 令和5年度学校給食センター運営方針（案）について

（2）その他

6 議事概要及び会議経過

開会前に、委嘱状の交付及び自己紹介を行った。

（1）審議事項

ア 会長の選任について

互選により、遠山委員が選出された。

イ 副会長の選任について

遠山会長が鈴木委員を副会長に選任した。

ウ 令和5年度学校給食センター運営方針（案）について

事務局より説明し、承認を得た。委員からの質問および意見は、次のとおり。

（委員） 今まで学校給食の中で、ナッツ類をどれくらい使用してきたのか。使用頻度が低いとのことであれば、現状、ナッツ類のアレルギーが増えているということなので、使用を控える方向で良いと考える。

（事務局） 学校給食でのナッツ類の使用については、令和3年度までは、年に数回、クルミ和えなどで使用してきた。令和4年度からは、ナッツ類を取り除くことができる小袋（アーモンド小袋）などで提供することとし、摂り除くことが難しい調理の中では使用しないようにした。また、令和5年度からは、誤飲誤食に繋がらないよう、学校給食で使用しないようにしている。

（委員） ナッツ類とそばは、家庭でも手軽に食べることができる食材のため、学校給食で使用しなくても問題はないと考える。

(事務局) 説明を追加させていただく。

「浦安市学校給食物資規格基準書」については、給食で使用する食材を記載しているものであるため、7頁と25頁にナッツ類を記載している。

しかし、今後、給食では使用しないように考えているため、ナッツ類の項目を削除したいと考えている。

(会 長) 昨年度から、牛乳のストロー削減に取り組んでおり、直接、牛乳パックに口をつける飲み方にシフトしている。牛乳パックに飲み方の絵が描かれているが、口に含んで顎を上げている状況だと、誤飲をする可能性が高いと思う。

給食センターから学校に、誤飲しない飲み方の情報を発信して欲しい。

また、子どもたちへ指導する前に、教員にも情報を発信していただければありがたい。

(事務局) 牛乳製造事業者などから情報を集めて、発信していきたいと考える。

(委 員) 給食の食べ残しは、どれくらいあるのか気になる。

親は、子どもが給食を食べているものだと思っており、もし食べ残しがあれば、栄養が足りないことになる。子どもが給食をほとんど食べていないことが分かると、栄養が不足している部分を家で食べさせようと思う。一日を通じて栄養が取れたら良いと思っているが、最近の子どもたちは、栄養が足りていないと聞いているため、とても気になる。

(事務局) 給食センターで作っているおかずの食べ残しについて、学期ごとの数値にはなるが、令和4年度は、小学校は約10%で、中学校は約7%である。

(会 長) 給食の食べ残し率は、学期ごとに、給食センターから学校に報告をいただいている。今日のメニューや栄養など、給食センターからの情報を、給食の時間に校内放送をして、給食の内容を理解しながら食している。

本校では給食委員会があり、給食委員会の子どもたちが、食べ残しをなくしていこうというポスターを校内に掲示しており、子どもたちも食べ残しを意識している。

(事務局) 給食センターが食べ残し率の集計をすることで、献立作成している栄養士が、給食の食べ残しの状況、例えば、和食は食べ残しが多いなどを把握し、傾向を見ながら次回の献立を工夫している。

また、食育の授業も行っており、子どもたちに食材を知ってもらい、色々な物を食べていくことが大切であることを学んでもらいながら、できるだけ食に興味を持って、徐々に食べてもらう取り組みをしている。

(会 長) 事務局から説明があった、審議事項の「令和5年度学校給食センター運営方針(案)について」を承認してよろしいか。

(委 員) 承認する。

(会 長) 審議事項「令和5年度学校給食センター運営方針(案)について」を承認する。

(2) その他

次回の会議日程について事務局より説明した。